

一般財団法人 公園財団

- 1 名 称** 一般財団法人 公園財団
- 2 所在地等** 東京都文京区関口一丁目47番12号 江戸川橋ビル2階
〒112-0014
TEL (03) 6674-1188
FAX (03) 6674-1190
ホームページ <https://www.prfj.or.jp/>
E-mail: web-masters@prfj.or.jp
- 3 設立経過** 昭和49年5月1日
- 4 目的・事業**
- (1) 目的 社会需要に対応し、公園緑地、レクリエーション施設、野外教育施設等（以下「公園緑地等」という。）に関する調査研究、技術開発、環境教育、人材の養成、利用増進のための普及啓発、サービスの提供等の事業を行い、市民の心身の健全な発達及び環境の保全に寄与すること並びに地域社会へ貢献することを目的とする。
- (2) 事業
- ① 公園緑地等に関する調査研究及び技術開発
 - ② 公園緑地等に関する人材の養成及び派遣
 - ③ 公園緑地等に関する環境教育の推進及び動植物等の知識の普及
 - ④ 公園緑地等に関する利用増進のための普及啓発
 - ⑤ 公園緑地等に関する管理運営
 - ⑥ 公園緑地等に関するシステム及び物品の開発、販売等
 - ⑦ 公園緑地等に関するシステム及び物品のリース若しくはレンタル
 - ⑧ その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 5 基本財産** 10億1,600万円
- 6 役員** (平成31年4月1日現在)
- | | | |
|------|-----------|--------------------------|
| 理事長 | 蓑 茂 壽太郎 | (常 勤) |
| 副理事長 | 有 路 信 | (非 常 勤) |
| 常務理事 | 西 川 嘉 輝 | (常 勤) |
| | ” 長谷川 清 弘 | (常 勤) |
| 理 事 | 金 子 忠 一 | (東京農業大学 教授) |
| | ” 坂 井 文 | (東京都市大学 教授) |
| | ” 花 城 良 廣 | (一般財団法人沖縄美ら島財団理事長) |
| | ” 上 垣 孝 順 | ((一財)公園財団 事業推進部長 兼 企画部長) |
| 監 事 | 石 山 和次郎 | (税理士) |
| | ” 山 崎 隆 弘 | (公益財団法人横浜市みどりの協会常務理事) |

7 事業概要（平成30年度）

（1）公園緑地等の管理運営

国営公園及び地方公共団体の都市公園等において、業務全体のマネジメントの下、企画立案業務、施設・設備維持管理業務、植物管理業務、自主事業等の運営維持管理業務を、以下により実施し、質の高いサービスを提供しました。

安全管理の徹底、清潔かつ快適な環境を確保しつつ、参加型行催事・各種プログラムを提供するとともに、市民ボランティアや周辺観光施設、インターンシップを含む大学等との連携による地域貢献に留意しました。

更に、企画提案内容の確実な履行の確認・評価や専門家や学識経験者による助言をいただくために、13の国営公園及び新宿区立新宿中央公園において自己点検評価委員会を開催しました。

（2）サービス向上に資する収益事業

当財団が運営維持管理業務を受託している国営公園等において、オートキャンプ場、プール、売店、レストラン、駐車場、貸自転車等の事業を効率的かつ効果的に実施しました。

また、常に安全・清潔かつ快適な環境を確保し、お客様の満足度を高めるためのサービス提供に努め、サービス内容とコストのバランスに留意し、事業の進め方や人員配置の見直しなどを効率的に実施し、サービス及び収益力の向上を図りました。

公園利用者のサービス向上を図るため、ハード・ソフト両面で強化を行い、新たな取り組みとして、国営吉野ヶ里歴史公園では委託事業者の事業撤退に伴い直営化を進め、レストラン・売店の一部改修とともにオリジナルメニューの提供を始めました。

国営常陸海浜公園においては、昨年リニューアルした「記念の森レストハウス」において、コーヒーセミナーをはじめとしたイベントの展開や SNS を活用した広報活動など事業のブランディング、集客に向けた取組みを強化しました。加えて、訪日外国人の利便性の向上を図るため一部施設におけるキャッシュレスサービスの試行、また自転車メーカーと連携してオリジナル自転車の開発に着手するなど、次年度以降の事業の拡充を見据えた準備に取り組みました。

（3）行催事・プログラムの実施

国営公園等の有する自然、歴史、文化的な資源を活用した各種の行催事・プログラムを提供し、社会・市民のニーズに対応するとともに、多様な普及啓発活動、利用促進、利用者サービスの向上を図りました。

運営維持管理業務を受託している国営公園等では、新規開園や開園からの節目となる周年時に各種記念イベントを実施するなど、公園の魅力の発信や周知に努めました。これらを含めた実施件数は、延べ7,896件（13国営公園で7,524件、13都市公園等で372件）となりました。

(4) 受託調査等の実施

国、地方公共団体等から以下の調査業務を受託し、実施しました。

- ・ 少子高齢社会に対応した都市公園の機能向上手法に関する調査業務
 - ・ 桂川河川区域利用調整プラットフォーム形成促進支援業務
 - ・ 公園・緑地生態環境調査委託
- 他 2件

(5) 公園緑地等の利用増進と適正な管理運営に関する調査研究及び技術開発

公園緑地等の利用増進と適正な管理運営に関する諸課題に対応することを目的とした調査研究・技術開発を実施し、研究成果等を情報発信しました。

- ① 科学研究費補助金による研究の実施
- ② 海外の公園緑地等の管理運営等に関する事例や情報収集・発信
- ③ 研究成果等の情報発信

(6) 公園緑地等の利用増進と適正な管理運営に貢献する人材の養成

公園緑地等の利用増進と適正な管理運営に貢献する人材を養成するための事業を実施しました。

- ① 環境教育プログラム「プロジェクト・ワイルド」の指導者養成
- ② 公園管理運営士認定試験

(7) 公園緑地等における環境教育・動植物等の知識・利用増進に関する普及・啓発

広く一般市民の方々を対象として、公園や花・みどりに関する知識、アイデア、環境教育の推進、動植物等の知識の普及、公園緑地等の利用増進を図ることを目的とした普及啓発活動を行いました。

① 花みどり文化の普及「公園文化WEB」

「花・みどり文化の普及」と「公園文化の普及」を目的とする公園文化情報サイト「公園文化WEB」については、公園緑地等の管理運営の新しい動きや多様で魅力ある管理運営のあり方を提案する試みとして、新たに「世界の公園玉手箱」、「公園の本棚」を加え内容を充実しました。また、これまでの記事をまとめ「公園文化かわら版」として発刊し、関係団体や公園で活動するボランティア団体等へ配布することにより、同サイトの周知と愛読者増を図りました。

② 「公園・夢プラン大賞」の実施

全国の公園緑地等を舞台に、市民による自由な発想で実施されたイベントやこれからやってみたいアイデア・プランを募集し、審査のうえ表彰しました。

(ア)「実現した夢」部門

(イ)「やりたい夢」部門

③公園緑地等の利用増進や管理運営に関する講演会等の開催

- ・名 称：「第16回公園管理運営フォーラム」
- ・テ ー マ：「スポーツに親しむ新しい公園のマネジメント」
- ・名 称：「公園文化の集い」
- ・テ ー マ：「子育てと公園」

④海外情報講演会

- ・名 称：「収益の先の公共性を見据えた米国の公園」

⑤賛助会員向け講演会・意見交換会

- ・テ ー マ：「気象と都市」

⑥普及啓発に係る諸事業

公園緑地等の利用増進及び都市緑化の推進を目的として、国土交通省、地方公共団体、関係団体等とともに、国が主唱する「春季における都市緑化推進運動（4月1日～6月30日）」や「都市緑化月間（10月）」等における諸行事を実施し、支援しました。

(ア)「第29回全国『みどりの愛護』のつどい」の支援

(イ) 都市緑化の普及啓発

(8) 防災、震災等の復興支援に関する取組み

都市公園等が日頃から防災訓練等で活かされ、災害時には市民の求めに的確に応えられることが重要と認識し、公園緑地等による防災・減災はもとより、災後の復旧のあり方に係る調査研究、ならびに防災、復興支援に係る普及啓発等を行ってまいりました。

今年度は、熊本地震で課題となった車中泊避難への対応を検討する「都市公園における避難所としての機能のあり方」に加え、熊本城の被災を事例に「文化財を有する公園における災後対応のあり方」に関する調査研究を実施しました。

また、東日本大震災からの復興に関わる地域活動として、石巻市で開催された「復興の森づくり植樹祭2018」などに引き続き参加しました。

(9) 日本宝くじ協会の助成金を活用したベンチ寄贈

高齢化社会を背景とした、都市公園における休憩施設へのニーズの高まりに対応し、一般財団法人日本宝くじ協会からの助成金等により、全国の公園緑地（6地方公共団体、15公園）に対し、公園ベンチ77基の寄贈を行いました。

(10) 計画的な職員研修の実施と職場環境の継続的な改善等

職員研修では、年間計画に基づき「広報企画研修」を、若手職員には管理運營業務実施に必要な「職員基礎研修」を実施しました。これらの研修では、講師を中堅職員が担当することで、

当該職員の能力向上にもつなげました。

各管理センター等においては、安全衛生管理研修、サービス接遇研修をはじめ、管理運営の実務に関する研修を実施しました。

職場環境の改善として、育児に携わる職員の短時間勤務の実施や「子育てサポートブック」の配布により、子育てと仕事の両立を支援しました。女性が働きやすい職場環境づくりを進め、6月には「女性活躍推進法」に基づく『えるぼし（2段階目）』の認定を受けています。また、高齢労働者が安全・健康に働くための取組みをまとめた「高齢労働者の労働災害予防の手引き」を作成・配布しました。

新たに、働き方の意識改革、勤務時間の見える化に資するよう出退勤システムの試行に取り組みました。

8 指定管理者

(1) 指定管理者制度導入の有無

「有」

(2) 指定管理者としての受託の有無

「有」

(3) 指定管理者としての受託している施設の内訳

一般公園： 8

有料公園： 0（庭園等含む）

有料施設： 4（スポーツ施設、資料館等）

9 交付金・補助金・助成金 143万円（科学研究費補助金）

10 決算概要（平成30年度）

正味財産増減計算書

（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

単位：千円

科 目	合 計
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
（1）経常収益	
基本財産運用益	6,491
特定資産運用益	9,476
受取会費	4,790
事業収益	8,537,746
受取補助金	1,430
受取寄付金	0
雑収益	21,560
経常収益計	8,581,493
（2）経常費用	
事業費	8,219,762
管理費	219,498
経常費用計	8,439,260
評価損益等調整前当期経常増減額	142,234
評価損益等計	0
当期経常増減額	142,234
2. 経常外増減の部	
（1）経常外収益計	77
（2）経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	142,311
法人税、住民税及び事業税	64,865
法人税等調整額	0
当期一般正味財産増減額	77,446
一般正味財産期首残高	1,373,277
一般正味財産期末残高	1,450,723
II 指定正味財産増減の部	
基本財産運用益	5,819
一般正味財産への振替額	△5,819
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	943,000
指定正味財産期末残高	943,000
III 正味財産期末残高	2,393,723

11 諸 規 程

- (1) 定款
- (2) 規程等に関する規程
- (3) 事務局組織規程
- (4) 文書管理規程
- (5) 公印及び契印規程
- (6) 個人情報保護規程
- (7) 監査規程
- (8) 賛助会員規程
- (9) 役員報酬規程
- (10) 職員就業規則
- (11) 契約職員就業規則
- (12) 勤務時間管理規程
- (13) 育児・介護休業規程
- (14) 健康管理規程
- (15) 安全衛生管理規程
- (16) 地域職員就業規則
- (17) 職員給与規程
- (18) 職員退職手当支給規程
- (19) 旅費規程
- (20) 宿舍規程
- (21) 被服貸与に関する規程
- (22) 厚生会規約
- (23) 表彰規程
- (24) 会計規程
- (25) 管理センター処務規程
- (26) ボランティア表彰規程
- (27) 特別表彰規程